

《 小児科からのお知らせ 》

【日曜日の救急診療の実施について】

診 療 日	毎週日曜日
診 療 場 所	救急外来棟
担 当 医 師	東北大学応援医師
受 付 時 間	9:00 ~ 16:30 (時間厳守)
診 療 時 間	9:00 ~ 17:00

※ 救急診療のため、投薬は1日分のみの処方となります。

※ 継続治療が必要な場合は、平日に受診していただくことになります。

※ 入院が必要と思われる場合、他の入院可能な医療機関へ紹介することになります。



《 ボランティアさんの活動 ~七夕飾り製作~ 》



【病院ボランティアさんの活動紹介】

病院ボランティアの皆さんは、患者さんのご案内や、車椅子の介助のお手伝いなど幅広い支援活動を行っており、現在、6名の方が活躍しています。病院ボランティアの皆さんの親切で丁寧な対応に、来院された皆さんから感謝の言葉をいただいております。

七夕の飾り付けは、毎年工夫を凝らして製作され、ボランティアの皆さんと看護部・事務の職員が一緒になって、正面玄関や中央階段、小児科前などに飾り、院内に彩りを添えました。来院された方々から、「きれいでもいいね」とお声をいただいております。

ぜひ一緒に活動していただける方を募集しております。

【研修の様子】



【KYT研修とは】

- ・K→危険(きけん) Y→予知(よち) T→トレーニングの略です。
- ・KYTは、職場の小集団で行う短期間の問題解決訓練で、自分で自分の身を守るため、行動する前の危険予知訓練として工業界で実施されてきました。
- ・医療機関では、年2回程度の医療安全研修の実施が義務づけられています。

【2019年度 KYT研修】

今年度は「患者誤認」を医療安全のテーマとして、日常に起こりうる危険を配膳や配薬を事例にして検討し、各グループごと職員が作成した動画を見ながら、危険要因や具体的な対策(配膳の場合、患者さんに名前を名乗ってもらう、ベットネーム・ネームバンドで本人確認をする、食札を確認するなど)を考えました。

今回の研修では、潜在する危険を洞察する力をつけることの大切さや、共同学習により、組織全体で事故防止対策に取り組むことの重要性を考えることができ、参加者数は過去最多で、多くの職員が研修に参加しました。

《 ~熱中症の予防について~ 》

熱中症は高温・多湿な環境で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調整機能が働かないことにより、体内に熱がたまり、大量の発汗、吐き気や倦怠感などの症状が現れ、重症になると意識障害などが生じます。

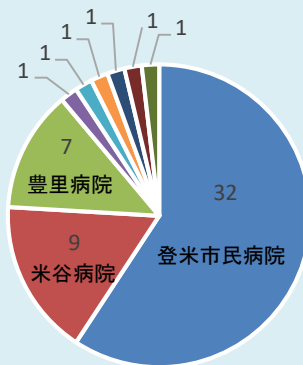
○暑さを避けましょう

- ・室内では扇風機やエアコンで温度の調整をしましょう。
- ・室温・湿度をこまめに確認。
- ・外出時には日傘・帽子を着用。
- ・冷たいタオル・氷・保冷剤などで、からだを冷やしましょう。

○こまめに水分を補給しましょう

- ・のどの渴きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液などを補給しましょう。
- ※特に高齢者の方は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しているため注意が必要です。

平成30年 熱中症 病院別 搬送人数
調査期間:平成30年4月30日~9月30日



- 登米市民病院
- 米谷病院
- 豊里病院
- 石巻赤十字病院
- 栗原中央病院
- 八木小児科医院
- 遊佐内科胃腸科医院
- 若柳病院
- 気仙沼病院

※登米市消防本部提供のデータをもとに作成。
調査対象は医療機関に搬送した熱中症またはその疑いのある傷病者(転院搬送は除外)です。

グラフのとおり、登米市民病院は熱中症患者の搬送が多く、救急時に熱中症の治療に対応して、市民の皆様安心して医療の提供に努めております。